

「草加市の明日の保育を考える市長懇談会」資料

2008年11月23日

草加市長 木下 博信 様

草加市保育園父母会連合会 会長 阿部 善子

木下市長におかれましては、日頃より草加市の子育て環境向上のためにご尽力をいただき、誠にありがとうございます。またこのたびは、草加市のよりよい保育を考えるための市長懇談会を開催していただき、誠にありがとうございます。

特に2008年度におきましては、保育料の兄弟減免において、幼稚園在園の世帯も減額の対象としていただくとともに、すべての階層において年齢が下の子の保育料を減額していただきましたことは、私たち保育園世帯の家計にとりまして大変にありがたく、心より深く感謝申し上げます。また、あずま保育園やさかえ保育園の園舎建て替えにつきましても、現場の声を吸い上げながら、園舎建設に反映させていただいていますことに厚く御礼申し上げます。

しかしながら私たち保育園保護者は、公立保育園開設以来初めての保育園職員（技能員）の外部委託や、公立の0歳児保育の廃止と家庭保育室への移行計画に不安や心配を抱いております。「草加市の保育の質は保てるだろうか」、家計も働く環境も厳しくなっており、産休明けや育休明けで職場復帰しなければならないが「保育園に入園できるだろうか」などの心配や不安です。つい先日は、ハッピー家庭保育室や認可外保育園ハッピースマイルが突然閉園に追い込まれました。公的に保障されるべき保育に企業が参入することで、安定的保育が崩され、子どもたちや働く家庭にしわ寄せがきています。草加市の保育の質を保つためにも、せめて現在の草加市の公的保育の水準は守ってほしい！子どもたちの育ちを守るよりよい保育をめざしてほしい！心からの叫びです。

今年度も父母連は、約1600の保育園世帯にアンケートを実施し、よりよい保育を望む多くの保護者の声をあつめています。また毎月の各園父母会による代表者会にて、様々な要望や意見を吸い上げてきました。それらを下記にまとめ、市長懇談会の資料とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

記

緊急及び重点要望項目

家庭保育室の更なる充実とともに、公立園における0歳児保育の継続実施をお願いします。

- * 「草加市次世代育成支援行動計画／前期計画（平成17年度～21年度）」には、“公立園の0歳児保育廃止及び家庭保育室への移行計画”は、全く含まれていませんでした。また移行計画の提示は私たち草加市保育園父母連にのみ「素案」の形で提示されたものにとどまっており、有識者を含めた市民レベルでの検討が不十分であると思われます。市としてはいかがお考えでしょうか。
- * また、今後多くの市民に利用される「子育て支援センター（仮称）」の1・2階に建設される「新さかえ保育園」は、草加の保育のセンター的機能も併せ持つと期待しております。また、現に2007年度末に「0歳児：125人、1歳児：95人、2歳児：60人」もの待機児が発生する現状に鑑み、育児休業明け対策としての1・2歳児の受け入れ数の拡大だけでなく、やはり最も待機児の多い0歳児の受け入れ数拡大を視野に入れて、無理のない計画を進めていく必要性を強く感じますが、その辺についてはいかがお考えでしょうか。

あずま保育園は4月開園ではなく突然6月開園へと計画が変更されました。特に育児休業明け復帰で1歳児を預けたいと予定していた家庭が大変に困っています。6月から新あずま保育園に1歳児を預けたいと希望する場合の4・5月の保育を保障してください。

草加市による「保育料の兄弟減免措置」に心より深く感謝申し上げます。しかしアンケートの結果、依然として、草加市の保育料を高いと感じている家庭が多く、要望の第1位として「保育料

の引き下げ」を望む声が多いのが現状です。またトータルの保護者負担は県内の自治体と比較してもまだまだ高額です。

- ア．国が定める徴収基準額に相当する D18・19 階層の保育料引き下げを検討して下さい。
- イ．とりわけ「逆進性」が大きい D 階層の保育料や、7・8 割の家庭が高いと感じている 3 歳未満児の保育料の引き下げを検討して下さい。
- ウ．職員配置や保育条件の向上を伴わないままでの延長保育料の徴収は中止して下さい。
- エ．保育料の支払いが困難な世帯には「草加市保育料の減免実施基準」を積極的に適用して下さい。
- オ．草加市には足立区からの転入者が多く、足立区と草加市の保育料の違いを実感する世帯が多くあります。自治体によって公費負担分と保護者負担分の割合が異なるなどの「保育料のしくみ」が私たち保護者には見えにくいいため、保育料の違いのみがクローズアップされ、負担感が大きいのも現状です。そこで近隣自治体との比較で「保育料のしくみ」について教えて下さい。「病児・病後児保育」は、アンケートの結果、昨年度の要望第 3 位、今年度の要望第 2 位に挙げられています。草加市では、これらの市民のニーズに応えて、2008 年度 4 月からより内容を充実させて、市の委託事業として「草加市ファミリー・サポート・センターノ（派遣方式の）病児・病後児サポート隊ぽかぽか」を実施していただき、誠にありがとうございます。突然もしくは続けて仕事を休むことが困難な親の状況において大変にありがたく、また病気回復期の子どもを、突然大きな集団の保育園ではなく、自宅もしくはサポート会員宅で預かっていただけることは、子どもの体にとりまして負担が少なく、親子ともに大変にホッとできる制度です。ただ、この制度の周知度が低いように思われます。草加市ホームページへの掲載など、市民への周知の工夫をお願いします。また、新さかえ保育園への「施設型病児・病後児保育の実施の予定」などについてお聞かせください。

草加市のすぐれた自園直営方式は草加の宝物です。今後もぜひ自園直営方式の給食を続けてください。また「完全給食」は、アンケートの結果、昨年度の要望第 2 位、今年度の要望第 3 位に挙げられています。食育の面からも考慮し、3 才児以上の子どもにあえて主食を提供しない「不完全給食」を改めて、主食を提供する「完全給食」の実施を検討して下さい。

育成保育（障がい児保育）について

全園を対象に育成保育を実施してくださっていることに感謝しております。

- ア．育成保育担当保育士の配置は対象児 3 人に対して 1 人を原則としていますが、育成保育担当保育士を複数配置するなどの手立てをして、1 園 3 人の受け入れをして下さい。
 - イ．障がいや慢性疾患を持つ子どもは、療育や訓練、定期的な受診・受療など、保護者によらなければならないケアが必要であり、保護者の就労は事実上不可能な実態があります。入園申込にあたっては「草加市保育の実施に関する条例」の保育の実施基準（7）の適用、もしくは、就労予定や内職などでの特別枠での入園を検討してください。
 - ウ．育成保育対象児でも、時間外保育・延長保育・土曜保育が可能となるよう、必要な人的配置をしてください。
 - エ．育成保育対象児の入園及び更新の手続きに、是非保護者の聞きとりの機会を設けてください。また、入園及び更新の手続きがわかりにくいため、手続きの流れを文書で提示してください。
 - オ．22 年度オープン予定の「子育て支援センター」へは大きな期待が寄せられています。育成保育対象児が利用しやすいよう、土曜日の療育相談や訓練の実施をお願いします。
- 保育の質を守っていくためにも、公立保育園の職員は外部委託ではなく、市の職員を配置してください。公立保育園の技能員の仕事は多岐に渡りますので、市の職員としての技能員の配置をお願いします。

< 0 歳児保育のあり方について >

20 年度～26 年度に、各公立保育園周辺に 1～3 家庭保育室、計 24 室が新設される計画になっていますが、安全で質の高い家庭保育室の設置をお願いします。

安全で質の高い家庭保育室の設置を実現するための草加市としての基準を示してください。
現在の草加市の家庭保育室は、最低でも保育士が複数配置されていますが、施策上その明文化を
お願いします。

家庭保育室保育者としての資質向上のために、園長・栄養士・看護師などによる巡回相談や相互
の保育研修などの機会を保障してください。

サテライト方式で公立園の周囲に家庭保育室を設置していく計画では、家庭保育室の公立園行事
への参加は、どのような方向でお考えでしょうか。

家庭保育室における育成保育の実施について教えてください。

0歳児保育における時間外保育・延長保育・土曜保育のニーズが保護者から寄せられていますが、
市としての方針をお聞かせください。

家庭保育室同士の横の交流や保護者の意見の吸い上げができるようなシステムの工夫を
お願いします。

現在の家庭保育室への移行計画進捗状況や今後の見通しについて教えてください。

<あずま・さかえ保育園の園舎建て替えについて（21年度6月あずま、22年度さかえ開園）>

父母連としましては、今後の園舎建て替えに関しても、適正な定員規模は100人程度と考えて
います。さかえは150人と今までに無い大規模定員でのスタートとなりますが、安全確保やス
ムーズな園生活実現のためにも、大規模化に係る職員の加配をお願いします。

大規模であるため、様々な感染症や怪我が予想されます。看護師の配置をお願いします。

技能員は、外部委託ではなく、市の職員をお願いします。

長年使用する大切な園舎ですので、完成まで園長・保育園職員・保護者などの現場の声を反映し、
よりよい園生活が実現できる素敵な園舎を建設して下さるようお願いいたします。

<その他 草加市の保育施策や保育環境について>

待機児童の解消は、大規模化や詰め込み保育ではなく、保育園の新設をお願いします。

保育園新設にあたっては、専用の屋外遊び場の設置や保育設備の確保、草加市基準の職員配置、
調理室の設置や自園方式の給食の維持など、草加市次世代育成支援行動計画が格調高く宣言して
いる「子どもの権利」を最優先した良質な保育が展開できるようにしてください。

待機児童の多くは認可外保育施設を利用しています。同じ草加市の「保育に欠ける」子どもであ
り、これらの子どもたちの健康や安全について草加市が同等の援助をすべきことと考えます。

認可外保育施設利用の児童に草加市の保育園が行っていると同様の医科歯科検診を市が行って下
さい。また、待機児童であって家庭保育室や認可外保育室に入所している場合は、「草加市保育料
の徴収に関する規則」を適用し、第二子減免措置や草加市の保育料基準を上回る保護者負担につ
いては草加市が補填をして下さい。

保育環境の安全と充実のために、次の項目の実現をお願いします。

ア．うつぶせ寝の危険など、安全管理の注意喚起を引き続き市内の保育施設に行ってください。

イ．安全かつ心身ともに健やかな育ちを守るためにも、定員を大幅に超えたつめこみ保育は行わ
ないで下さい。

ウ．草加市の子どもたちが利用している認可外保育施設の実態を把握し、必要に応じて、監督、指
導、あるいは現場スタッフへの研修を行い、認可外保育施設等を利用している子どもたちの安
全で良質な保育が提供できるようにして下さい。

「いきいき子育て応援プランそうか（次世代育成支援行動計画）」では、延長保育事業に関する
21年度までの目標として“延長保育の全園実施”が掲げられていますが、20年度10月現在の延
長保育実施園は9園にとどまっており、目標値と大きな隔たりがあります。計画通り、延長保育
の全園実施をお願いします。また、延長保育事業の進捗状況及び今後の方針について教えてくだ
さい。

2008 年度 4 月よりスタートしました市の「送迎保育」は、延長保育未実施園の世帯や時期によって就業時間が変動する世帯にとっては、大変にありがたい事業であり、感謝しております。しかし一方では、事業の詳細についての周知度が低い、バスへの乗車時間が 1 時間にも及ぶなどの意見も出ております。「送迎保育」の詳細（バスの台数や会社・保険・経路・利用規則など）について教えてください。

指定園方式等での実施も含め、日曜日の保育の実施（7 時～19 時）の検討をお願いします。保育士・看護師・栄養士・調理師・技能員の正規職員・臨時職員・外部委託の雇用状況と現在及び今後の採用・募集方針について教えてください。

安定した質の高い保育園職員の人材確保をお願いします。そのための市の工夫や方針について教えてください。

現在の草加市の公的保育の良さを守ってってください。また、「認定こども園」や保育分野への「指定管理者制度の導入」に関する市の今後の方針を教えてください。

保護者や小児科医から、一日 3 回の与薬を依頼したい、との要望が出ています。鳩ヶ谷市の公立園では与薬を実施しているようです。他自治体の与薬の状況や市の考えをお聞かせください。

草加市の保育園の耐震強度についての不安の声があがっています。草加市の保育園の耐震強度について文書での提示をお願いします。また、耐震強度が足りない園については早急に耐震工事を実施してください。

以上、よりよい保育をめざすための保育園保護者の要望や質問等を述べさせていただきました。内容が多岐に渡りますので、大変にお手数ではございますが、これらの要望や質問等について「文書での回答」をお願いいたします。

～ 以上 ～